

令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	学 校 名
24	大垣西高等学校

学校教育目標	「至誠一貫」の校訓のもと、人間尊重の基盤に立ち、知・徳・体の調和のとれた人格形成をめざし、自他に対して至誠を貫き自主・自律の精神と創造性に富む資質の啓発を期する。		
スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（GP）	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP）	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP）
	<ul style="list-style-type: none"> ○知・徳・体の調和のとれた人格を形成し、心豊かな情操と道徳的実践力を持つ生徒 ○何事にも自主的・自律的に取り組む姿勢と創造性に富む資質を身に付けた生徒 ○地元地域を愛し、仲間とともに将来の地域社会へ貢献していく生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎基本を重視した学習指導や探究活動を通じた学力の向上 ○学校行事や部活動等を通して生徒相互が切磋琢磨し、主体的に学び考える能力の育成 ○単位制の利点を生かして多くの選択科目を展開し、生徒一人一人が個性の伸長を図りながら自己の進路を実現 	<ul style="list-style-type: none"> ○義務教育段階の基礎的な能力を身に付け、さらに高い能力を目指し自分を向上させたい生徒 ○進学を志し、自分に合った選択科目を主体的に学習して自らの可能性へ挑戦する生徒 ○生徒会活動や部活動、地域活動などに積極的に参加し、より良い学校生活や地域社会を築いていこうとする意欲のある生徒
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策		達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 毎日の授業を大切にすることで、生徒一人一人のキャリア教育を推進し、主体的な進路選択による進路実現を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ①各授業時間の目標を明確に示し、分かりやすい授業を通じて、基礎・基本の定着を図ります。 ②少人数クラスの編成や習熟度別授業の実施等により、個々の能力に応じた学習環境の整備を図ります。 ③各授業に加えて、補習、土曜講座、学習室の開放等を通して進路希望の実現に向けて、必要な学力が身に付くように支援します。 ④将来に向けた自己実現の在り方について主体的に考えることができるように、3年間を見通したキャリア探究に関わる学習活動を行います。 		<ul style="list-style-type: none"> ①「生徒及び保護者を対象とするアンケート」における関連項目の達成度 ②「生徒を対象とする授業アンケート」における達成度 ③定期考査や課題テスト等の成績 ④模擬試験の成績、大学入試などの進路結果 ⑤保護者懇談での情報共有
2 学校生活において打ち込めるものをもたせ、自己有用感を感じることが出来るよう支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ①主体的に判断して行動できる生徒を育成するために、学習活動と部活動・生徒会活動等の諸活動の両立が確立できるように支援します。 ②部活動や生徒会活動が一層活発化するように支援します。 		<ul style="list-style-type: none"> ①「生徒及び保護者を対象とするアンケート」における関連項目の達成度 ②各種大会やコンテストにおける結果 ③学校関係者から寄せられる声
3 生徒に基本的な生活習慣、礼儀作法、ルールを守ることの大切さを実感させ、一人一人が将来社会で活躍できるよう育成します。	<ul style="list-style-type: none"> ①挨拶の励行や時間の厳守等の基本的なマナーやルールを身に付けられるよう支援します。 ②SNS等の安全・安心な利用を推進するために、情報モラルを身に付けられるよう支援します。 ③独自の工夫ある取組を通じて、防災教育、交通安全教育の充実を図ります。 		<ul style="list-style-type: none"> ①「生徒及び保護者を対象とするアンケート」における関連項目の達成度 ②遅刻者数 ③命を守る訓練の実践 ④交通事故の発生件数
4 ICT機器を積極的に活用し、新学習指導要領の掲げる「主体的・対話的で深い学び」が実現できるように努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ①校内に設置した専門部署を中心に、ICT教育の推進を図ります。 ②生徒に一人一台貸与されたタブレット等のICT機器を効果的に用いた教科指導を通して、授業改善をより一層推進します。 ③「Microsoft Teams」や「MetaMoji」などのデジタルコンテンツを有効的に活用した教材研究を通して、授業改善をより一層推進します。 		<ul style="list-style-type: none"> ①「生徒及び保護者を対象とするアンケート」における関連項目の達成度 ②「生徒を対象とする授業アンケート」における達成度 ③ICT機器を活用した研究授業やICT機器の使用に関する職員研修の実施回数
5 生徒一人一人としっかりと向き合うことができるように教職員の働き方を改善します。	<ul style="list-style-type: none"> ①勤務時間を意識した働き方である「タイムマネジメント」を浸透させます。 ②教職員の業務を補助するサポートスタッフの雇用や専門スタッフなどの外部人材の活用を積極的に図ります。 		<ul style="list-style-type: none"> ①「生徒及び保護者を対象とするアンケート」における関連項目の達成度 ②時間外在校等時間の上限月45時間を超える教職員数